

## 厄介者のクラゲ 優美な姿を紹介

鴨川シーワールド

鴨川市の鴨川シーワールドで、夏に海水浴場で人を刺すこともある「アンドンクラゲ」が展示されている。担当者は「海水浴には厄介者だが、泳ぐ姿は優雅でとても涼しそう。夏限定の展示なので、美しい姿を楽しんで」と話している。

展示されているアンドンクラゲは鴨川シーワールド提供



アンドンクラゲは傘部が立方体で高さ約3センチ。4本の触手は通常15センチほどで、伸びると30センチ以上になる。触手には強い毒がある刺胞があり、小魚などを捕まえて食べる。四角い形の傘と長い触手が「あんどん」を連想させることが名前の由来とされる。

熱帯性だが、夏に黒潮に乗って北上し、日本各地の沿岸に現れる。同館は今年14日に鋸南町の保田漁港で80個体を収集し、展示を始めた。